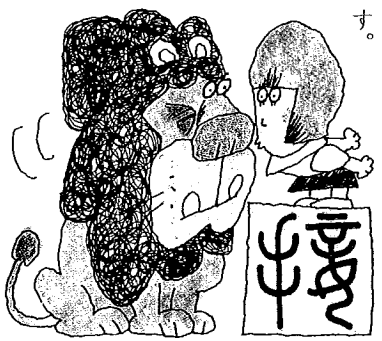
接

【5年】

11画

セツ

つぐ



なりたち 貴人にはべって立ち働く女性を表した妾（しょう）と手との会意形声字。妾の手はよく物にふれるので〝ふれる〟意味、貴人に近づくので〝近づく〟意味、〝もてなす〟意味を表す。

いみとじゅくご

▼ふれる。まじわる。つなぐ。

接触…❶近づいて触れ合うこと。❷人と交わること。

接続…続くこと。つながること。つなぐこと。例接続詞

連接…連なって続くこと。

▼近づく。

接近…近づくこと。用例車が急に接近して来た。

接戦…❶近よって戦うこと。❷力が互角で、どちらが勝つかわからない勝負。

直接…間に何もはさまないでじかに接すること。反間接

▼あう。もてなす。

接待…客をもてなすこと。特に食事や湯茶をふるまうこと。

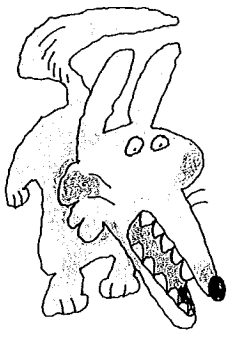
応接…訪れて来た者を迎えて相手をすること。例応接室

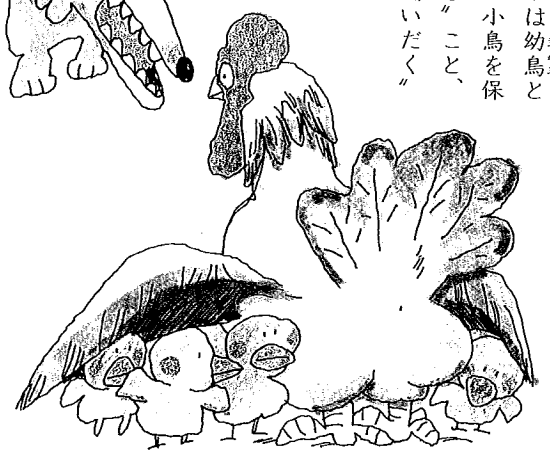
よみかた 接合・接骨・接種・接線・接着・接ぎ木・密接

擁

16画

ヨウ





なりたち 本字は雝で、小鳥を保護する意味の雝（よう）と手との会意形声字。（雝は幼鳥と見ることができる。）小鳥を保護すること、〝まもる〟こと、小鳥をふところに〝いだく〟ことを表した字。

いみとじゅくご

▼まもる。助ける。

擁護…助け守ること。例人権擁護

擁立…ある人を支持し、助けもり立てること。用例候補者を擁立する。

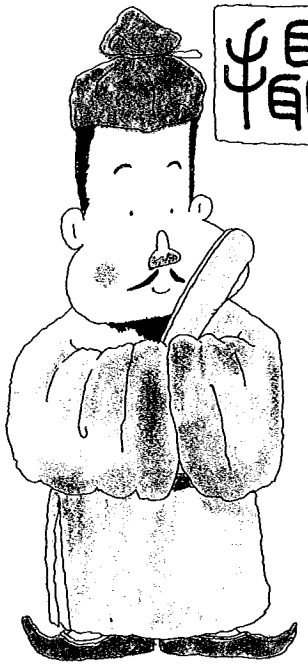
▼いだく。

抱擁…だきかかえること。

摂

13画

セツ



なりたち 旧字体は攝で、広く人の意見を耳から取り入れる意味の聶と手との会意形声字で、広く意見を取り入れて事をとり行うことを表した字。単に〝取る〟意味にも用いる。取も手と耳の会意字である。

いみとじゅくご

▼とる。とりいれる。

摂取…取り入れて自分のものにすること。用例栄養の摂取にこころがける。

▼とりおこなう。おさめる。

摂理…キリスト教で、万物を治め導く神の意志。

▼かわって行う。

摂政…天皇にかわって政治を行う官職。

▼やしなう。

摂生…健康を保つために注意すること。

よみかた 摂氏

挿

10画

ソウ

さす

なりたち 旧字体は插で、臼（すき）と午（ぬ）とで、〝臼づく（臼に物を入れてつくこと）〟意味を表した臿と手との会意形声字。臼づく時には臼の中に時時手をさし入れるので、〝さし入れる・さす〟という意味を表した。

いみとじゅくご

▼さす。さし入れる。

挿入…さし入れること。例挿入句

挿話…文章や談話の間にはさみ込まれる、本筋とは直接関係のない短い話。エピソード。

よみかた 挿絵・挿し木